

## 訪問診療・往診・訪問リハビリテーション

医療法人平和会  
ひさまつクリニック

Wenson 通信

～うえんそんつうしん～

VOL.2

## ■「Wenson 通信」に変更しました

五月晴れの空に鯉のぼりが悠々と舞い踊るこの頃、皆様におかれましてはお変わりございませんか。さて、今月号より、本通信のタイトルが変更になりました。当院の所在地が鹿児島市上之園町にあるということで、親しみやすく、皆様の印象に残るように、『上之園』を鹿児島弁に言い換えて『Wenson (ウエンソン) 通信』となりました。是非、今後は『ひさまつクリニック = Wenson』と覚えていただければ幸いです。

## ■シンボルマークの由来

当院開院時より、ひさまつクリニックの顔となっているこのフクロウ！  
何故フクロウなのでしょう？！  
フクロウは、苦勞をしない「不苦勞」や服がこもる「福籠」、学問の象徴の「森の哲学者」など実に様々な呼び名があります。鹿児島島の地域医療を見守り、患者さんや周りの皆様に幸福を運べるようフクロウとともに飛び回りしたいと思います。

～院長ブログより抜粋～

## ■情報共有に力を入れています

ひさまつクリニックでは各スタッフが情報を共有することが、より良い医療を提供

するために大切だと考えています。そのため、医師や看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー（医療相談員）、事務スタッフが同じフロアで仕事をするように開放的な職場環境を心がけ、毎日朝礼を行っています。伝達事項の周知に加えて、前日の患者さんの体調等をそれぞれが報告し全スタッフで情報を共有しています。

またリハビリチームは、開設して間もないこともあり、定期的にミーティングを行い、質の高い訪問リハビリが提供できるよ

う話し合いを行っています。



## ■5月の勉強会のお知らせ

毎月開催しております勉強会ですが、今月は5月20日（火）に開催予定です。12：30～下嶋ST『失語症について②』  
13：00～スマイル薬局 神野真幸薬剤師「ドキドキさせない！不整脈にはこの薬」  
昼食を取りながらの参加も可能ですので、お気軽にご参加ください。なお、資料の準備をさせていただきますので、事前にお申し込みをお願いします。

## 研修報告



▲平澤先生の著作です  
久松院長がこの本を読み、是非にとお願いし、実現した研修でした。

## 「ヤマナシで伝説の訪問言語聴覚士(ST)に学ぶ」

言語聴覚士 濱崎 恵

今年の3月中旬、山梨県甲州市の訪問ST平澤哲哉先生のもとに研修に行きました。平澤先生は大学生の頃交通事故に遭い、ご自身が失語症になってしまいました。病気と闘いながら辿り着いたのがSTになる道であり、よりよく患者さんと接していく方法を模索した結果、現在のフリーランスの訪問STという形に落ち着いたそうです。ご自身の体験を著した3冊の本はメディアにも紹介され、大きな反響を呼びました。通常のST業務に加え、全国各地から講演依頼や研修の申し入れがあり、多忙な毎日を送っていらっしゃいます。今回の研修では、先生に同行して訪問リハビリの様子を見学したり、失語症友の会に参加したり、貴重な体験をさせていただきました。山梨は初めて訪れる地であり、移動含めて9日間という長期の研修でしたので期待と不安が半々でしたが、先生は色々細かく配慮して下さり、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。STとしてこれまで働いてきましたが、あらためてこの世界の奥深さを実感できた日々でした。鹿児島における訪問リハビリの発展の一助となれるよう、この経験を生かしていきたいと思っています。

